

# 週刊えとう

# 1

# '87.1.19

協友会  
越冬委員会

## ●はじめに

今年も第17回釜ヶ崎越冬実のあとを引き受け2月末まで、夜間パトロールを中心に、越冬活動をするようになりました。期間は1月12日～2月末までの約1ヶ月半です。

今年のわたしたちの越冬テーマは「人を人として」です。協友会各グループの日常活動でもこのテーマを生かしていますが、特に越冬活動ではこのテーマにこだわりたいものです。そのため、今年の冬は、単にパトロールするだけでなく、それぞれのグループ（月火金土）の特色を生かし、労働者が一人の人間として釜ヶ崎で生きていけるように尽力したいと願っています。

また各グループも学習会を計画し、なぜ、わたしたちが、越冬活動をするのか、その意味を学びます。毎週木曜日の午後7時半からは、各グループのリーダーを中心に夜間パトロールについての意見交流をします。こちらにも参加してください。

## ●釜ヶ崎の状況(1月12日～1月18日)一

**1月12日。**1月3日梅田で道路交通法違反等で逮捕された8人(2人は1月6日釈放)について、大阪地裁で勾留理由開示裁判が、2回(1時半と3時)にわけて行われる。傍聴者70人。越冬実、夜梅田方面にオニヤリ人民パトロール。協友会夜間パトロールはじま

る。担当ふる里の家。

**1月13日。**火曜公開学習会テーマ「釜ヶ崎の用語」。夜間パトロール(担当放路の里)

**1月14日。**朝8時半から医療センター前で医療相談。午後からは市立更生相談所へ。

**1月15日。**午後3時すぎ勾留中の8人、つきつきに大阪拘置所から釈放される。

**1月16日。**夜間パトロール。担当喜望の家越冬実。梅田方面におにきり人民パトロール。

**1月17日。**こどもの里夜間パトロール。こどもの里、学童保育「芽」のこどもたちが多数参加。越冬実、夜。今期の越冬について反省会。

**1月18日。**協友会例会。4日以来の協友会の諸活動報告と夜間パトロールについての意見交換。

## ●夜間パトロールから

	参加者	地区内		計	備考
		南	北		
1月(月)12日	22	81	30	111	天王寺 日本橋 <sup>202</sup>
(火)13日	31	77	64	141	天王寺180
(金)16日	24	91	58	149	
(土)17日	62	85	49	134	天王寺 日本橋 <sup>279</sup>

釜ヶ崎地区内で野宿する労働者は140人前後ですが、日本橋、天王寺周辺にもかなりいます。梅田方面でも100人はくだりません。

# 山谷の追悼集会 に参加して……

## ●「山谷のすこさ」

バスにゆられて9時間ほどたった。なんとなくさみしい衝だった。バスをおりて、すぐスクラムを組んで、組合の所まで行った。足はふるえてた。さむさだけで、ふるえてたのではない。山谷と言う街が、釜ヶ崎とすこしちがって見えた。組合の前に、全国の労働組合の人やいろいろな人があつまった。

バスの中では、元気にジョークをとばしてた2人だが、イエイエーイを最後のジョークにして、2人ともしんけんになって行った。10時までバスを待まして、10時から玉姫公園に、山岡さん佐藤さん追悼集会在開かれた。450人の仲間が参加し、3時半からデモに行った。すこくよかった。

最後に玉姫公園についた時、汗をかいていた。同時にホッとしたかんじで体の力がぬけた。今度は、福岡に行きまーす。

(忍者ハットリ君)17才



## ●「山谷」

1・14山谷に行く事がきまった。当日夜8時30分頃バスに乗り込み、こどもの里のみんなが見送ってくれた。みんなとゆうても4~5人位。

バスに乗って10時間、やっと山谷についたのが朝7時30分バスから降りると寒さだけじゃなく緊張感のはりつめて、足がふるえた。

それから、山谷争議団の組合の前に集まって組合の人たちから話を聞いた。

話を聞いて山谷の状況が少しわかったけどあまりのすこさに心ざうが倍に動いた。

2時間ほど休憩があって、午前10時頃、山岡さん、佐藤さんの追悼集会的行われる玉姫公園にむかって歩き始めた。

公園に着いて、3時30分頃まで集会があってそれから山谷の町を450人位でデモをした。その日はケガ人やパクラれた人は一人もいなかった、それだけでほっとした。

もう一度公園の中に入り釜ヶ崎の人から8人仲間が奪還されたという事が伝えられた時公園の中でみんなが喜んだ。

もう後は帰るだけとおもったら自然に機動隊に文句ゆうてもうた。

ほんで釜ヶ崎に帰ってきてセンターに集まって奪還された仲間の内5人と会って話を聞いて解散した。(燃える闘魂)16才

# 声

越冬14トロー11に参加して!

本当にこのようにがんばっているおじさん達がいるのです。甘えてる自分がはずかしくなる程でした。良い経験をしました。また機会が与えられたら来させていたきたいと思います。(滋賀トさん17才)

# 週刊えとぅ 2

1987-1-26

釜ヶ崎  
キリスト教協友会

## 釜ヶ崎の状況②

1月19日(月)~25日(日)

**1月19日** 夜1月3日の事件についての救援対策会議が開かれる。今回の事件は、釜ヶ崎の活動への弾圧という点では、参加者一同認識をあらたにした。夜パトロール。

**1月20日** 夜パトロール。次回から医療相談のヒラを持って歩こうという意見が出される。診察依頼券も発行した方がいい。

**1月21日** 医療連と一緒に医療センター前で医療相談。相談に来た労働者19人。うち2人が協和病院、泉州病院に入院する。市更相での相談が終わったのは午後5時前。1名(69%)。明日の再面接。「宝」にとめ食事券を出す。

**1月22日** 喜望の家で夜間パトロールと2月1日の越冬活動交流会についての打合せ(集会についての詳細は別紙参照)

**1月23日** 朝、釜日労は、労災もみ消事件で四日市人糾弾にでかける。相手の鹿島建設は非ざわび問題の解決に努力することを約束する。夜パトロール。

**1月24日** 「こどもの里夜まわりだより No.1」発行。夜間パトロール。

**1月25日** 2月1日のポスターとちらしをつくる。

## 喜望の家学習会はじまる

喜望の家は、毎日11時半からのパトロールにさきだち、アルコール問題を中心に、次のような予定で学習会をすることにしました。パトロールに参加するとともに是非学習会にも参加してください。 PM10:00から

### プログラム

- 1月16日 パトロールのオリエンテーション
- 23日 釜ヶ崎とは
- 30日 なぜアルコールの問題か
- 2月 6日 釜ヶ崎のアルコール症
- 13日 アルコール症のケアの実際
- 20日 アルコール症のケアのこれから
- 27日 全体のまとめ

## -夜間パトロールから-

	参加者	地区内		計	備考
		南	北		
19日	22人	97人	47人	144人	天正寺 日本橋 231人
20日	38人	63人	79人	142人	311人
23日	32人	83人	48人	131人	
24日	84人	65人	31人	96人	257人

釜ヶ崎以外で野宿する労働者がふえていように思われます。



# 参加者の声

- ♥ 火요일(旅路の里)参加者のひとこと
- 思ったほどねてる人は少なかった
- 学習会で勉強できたことはよかった
- こういう寒さの中ねてること自体おどろくべきことでなんとかせなあかんと思った
- 仕事がないということが切実な問題だ
- テレビでみたり人から聞いたり知っていたが自分がそれに参加できたことはよかった
- 今何を考えなあかんかということを知らされた
- あったかいしまわんのときまわんのでは全然ちがう
- きびしい状況の中でのおだやかな表情が印象的だった
- 逆にがんばってやといわれる
- 何もかも新しくなった
- 四天王寺のグランとしたとこでねてるのはさむいと思う
- 例年よりさむいと思うのでもっと何回もききたい
- いつもみてる風景であたりまえになってるけどホンはあたりまえとちゃう
- 外にあるきびしさがわかった
- 日本橋の人はふとんを確保してる人が多いけど四天王寺はちょっと状況がちがう
- いつも釜ヶ崎のことを考えてるつもりであってんけど来てみてほんとには全然考えることとちがうことに気がついた
- 自分の回りの状況と釜とのギャップをかん

じる

- ふとんしきを採取したとたん寒くなったので今後きびしい
- バテラン青カンの人が多かった(天王寺)
- センターでの高令、障害者の選別のつらさをうったえられても無力感を感じる
- 自分の問題として釜ヶ崎をとらえ直してみたい
- 男でアカンなあと思った
- 三角公園がバクチやってなかったたので静かだった
- バタ屋さん一日200円の生活大変やなあと思った
- このごろタンボール4円から少し上がってきてるよーです
- 毛布が足りなくて少し残念だった

♥初めてのパトロールでどんなものか不安で不安でたまりませんでした。けれども思ったよりも人が少なく感じカイロや毛布を渡すとみんな“ありがとう、さくろうさま”といってくれてやるかいがあるなと思います。ういしくなりました。雨が降って冷えるのにコンクリートの上でこらかっている人。どうしてこの人はここにいらんだろうと疑問ばかりうかびました。私なんて何にもできないと思ったけど、“ありがとう”の声が聞いて参加してよかったとつくづく思いました。

(西宮ルーテル教会 20才)



## ♥日本橋の夜まわりに1つ感想

(菟ヶ茶屋小学校 6年)

前の夜まわりの時は、とても人数が少なかったのに、こんどのは、とてもおっちゃんたちのねている人数が多かった。

おもしろかったこと

おっちゃんに、みそ汁と、おにきりをわたすと「こまっちゃうなあ」といって、すごくてっていました。ほかに、おもしろかったことは、一人のおっちゃんが「よくきたなあ」といって、とてもおもしろい話をしてくれました。

はらかったこと

おじさんがモウフ一枚を 寒そうにしていたから、モウフをかぶしたったら、おじさんは「こんなもんいるかー」といって、モウフをあげとばしました。

おっちゃんたちをねられないように、公園にさくをしてみました。はらがたつたから、そのさくをけとばしました。

## ♥こどもの里の医りょうパトロールについて

(学童保育「芽」 鶴見橋中学2年)

さいしょはこどもの里の子にあいたくてパトロールに行った。けど、実際に寒い中をパトロールしてみて、おっちゃんたちにおにきりやみそ汁をあけて、ほんとにかまのおっちゃんたちの生活は苦しいやなあと思った。その上、青カンしてるおっちゃんは体が悪かったりお年よりではたらけなくてしかたなく金がないので外でねてる。ただでさえさおい夜なのに体が悪かったらぶつうの人の倍ぐら

いしんどいだろうと思う。だから体のわるい人は一人のこらぶ病院にいて体をなおして元気になってほしい。外でねてるおっちゃんをばかにしたりする人が信じられない。いっぺん頭をかちわって、のうみそのけんさをしてみたい!!? それから、私はつい最近までかまのおっちゃんたちが年間、行路死、行路病死などで577人ほど死んでいるのをしらななかった。同じ西成地区にすんでるのに……。なんでそうゆうことは新聞にのらないんだらう!!? だって人が道ばたで死ぬのなんかすごい怖いことと思う。そんな人が何人もあるんやから。自えい隊とかきどう隊に金つかうんやたらかまのおっちゃんたちにあけた方がよーほとしいのになあ。

元気で仕事をできても1番きけんな仕事をさせられる。かまのおっちゃんがきけんな仕事をやって、電気がついて住宅やビルがたつとゆうことを土よう日の学習会を知りました。

かまのおっちゃんが1人も死なず、1人も青カンせんできすおようになってほしい。それまで、できるかきりパトロールに参加して、手伝いたいと思います!!? おわり☆

—お知らせ—

次回から、こどもの里(土よう)の夜まわり参加者の声はぜんぶ「里よまわりだより」にのせますので「週刊えっとう」ではその他のよう日の参加者の声を中心にします。

ぜひ、あわせて読んでください。

# 参加者の声

♥今日、越冬にはじめてきました。今日は服をすいぶんきこんできたのですがそれでも外に出ると寒く感じられました。ところがその中で青カンしている人がいるということの苦しみが前より少し分かったような気がします。たまに日本橋の屋間来るときがありますが、今日の日本橋とは全くちがった世界であるように思いました。今日はまだあまり青カンしている人に声をかけられなかったけれども、今度くるときは今日よりも声をかけたと思います。みそ汁などをあげて「ありがとう」といわれたことが特に印象にのこりました。

(堺教会 16才)

♥青カンしている人が多いのにおそろしい。やさしい人たちだった。(堺教会)

♥初めてパトロールに参加しましたが、このパトロールよりも今日一人で町を歩いている時に道で寝ている人に出会った時の方がショックが大きかったです。パトロールには何人もで行くからいろいろなことができますが、一人の時は何もできませんでした。これは私個人の心の中の問題なんでしょうね。外の皆はどう思うんですかね。(福岡教育大 22才)

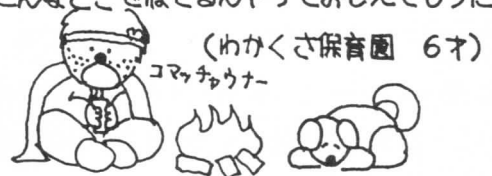
♥2回目のパトロールをして(今宮中2年)  
1回目は南回りだったけど今度は北回りのほうへ行った。

南回りはわりと寝てる人が多かったけど、北まわりの方は自分では少ないかなあと思ったたりもした。えびす町の方にはよく行くけどいつも必ず、タンホールとかを集めてる人が

2. 3人はいた。昨日、回ってて3人ぐらいの人が下半身をけがしているようだった。大丈夫かな?とか思ってたけど火よう日に病院に行くようだ。

昨日、あたしは必死でおにきりやらみそ汁やらをYちゃんと渡した。一人のおっちゃんが「あんたらぐらいの子があるんや」とか言うてた。あたしはその言葉をきいて「家族の人に会いたいやろなあ」って思った。釜のおっちゃんらはみんな、子供達を見たら自分の子供を思い出して話しかけたり、おかしくしたりするねんやろなあって思った。

♥このおっちゃんら かあちゃんから うまめたんやろ。なんで こんなところで ぬなあかんの。ととして おしごとでけんから こんなところでねてるんやっておしえてもうた。



## 予告

86~87釜ヶ崎越冬活動交流会ご案内

とき 2月1日(日) 6:30 P.M.

於 ふるさとの家

越冬活動をはじめ2週間すぎました。この間の反省と2月末までの活動について意見を交換したいと思えます。お乗りください。

スロガラム

開会礼拝・中間報告・野宿者襲撃事件の意味するもの・意見交流・担当者からの報告・開会の祈り

# 週刊えとぅ 3 1987-2-2

## 釜ヶ崎 キリスト教協友会

### 釜ヶ崎の状況 ③

1月26日～2月1日

**1月26日** 1・3事件の救済会議・釜ヶ崎の人権・闘いに対する広い支援の環の必要性が話し合われる。夜間パトロール

**1月27日** 越冬期に市に提出した公園局関係の要望について公園局(管理課)と話し合う。  
①天王寺博 ②浪速区関谷町公園のフェンス  
③三角公園のフェンスについて抗議と申し入れ。夜間パトロール

**1月28日** 第17回越冬実 総括会議・炊事・医療・パトロール・警備・労働の各班と支援グループからの総括がのべられる。後日、文章化する。医療連との共同の医療相談

**1月29日** 日本キリスト教協議会主催の「日韓教会協議会」で来日中の韓国教会代表および日本代表10余名が、釜ヶ崎に来て協友会と話し合う。薄田神父発題。4グループに分けて、地域での研修。韓国における日雇労働者の街についても聞く(喜望の家)。夜パトロール担当者会議。各班の一週間の動きとこれからへのアヒール。また2月1日の'86-'87越冬活動交流会について話し合う。

**1月30日** 夕方から梅田で1・3事件の救済ヒラをまく。夜パトロール

**1月31日** 「里夜まわりだよりNO2」できる。

夜パトロール。相変わらず参加者が多い。学校の先生たちが参加してくれているのは有意義。

— 旅路の里から —

旅路の里の夜まわり前の学習会では、1月27日、「アオカン」を取りあげました。発題者のOさんが用意したシメにしたがい、なせ青カン者が出るのかについて学んだ。最大の原因は仕事の件。高令、病弱、障害などが原因で就労できず、結果として野宿に追い込まれていく。どうしても仕事のことを考えなければ、根本的な解決にはならない。また季節的にも仕事のおち込むとき(4月～7月)は、青カン者が激増する。

### 夜間パトロール ③

	参加者	地区内		計	日本橋 天王寺
		南	北		
1月26日(月)	31人	101人	43人	144人	334人
27日(火)	35人	117人	31人	148人	332人
30日(金)	34人	107人	58人	168人	369人
31日(土)	80人	121人	32人	153人	328人

地区内はセンター周辺と四角公園で野宿者がふえている。また南では、シノギが多発していることが報告されている。たとえば1月30日は3件。

# 参加者の声

♥ ここに来るまで、本当に不安と私なんかには何が出来るのだろうかということがずく頭の中にあります。そして、いざパトロールに出発しても初めはただ歩いて見ていただけでした。でも、見ているうちに私にも仕事を与えられ、私なりにすんなりと一生懸命できたことが不思議でした。そして怖いというイメージも消えていて、毛布やカイロを渡している声をかけてきてくれたりしてくれたので、私自身も励まされ、初めて参加しましたがよかったなと思いました。

(西宮ルーテル教会 19才)

♥ 今日4回目のパトロール参加でした。前回からコツをつかんだのか、かなり働けるようになった(と思う)ので、それが一番嬉しいことです。この気持ちが“ごうまん”に変わらないうちに毎回自分自身をひきしめて、きんちょーを持って、パトロールに参加したいものだと思います。それにしても、今日シノキが出たことが残念です。ほかー 最近、釜ヶ崎のおっちゃんかとても好きです。(変な意味じゃなくて)うきうき♡ これから、みんなでがんばっていきましょう。

(大阪ルーテル教会 20才)

♥ 今日は風邪をひいている人が多かったです。内臓をいためて血を吐いたという方がおられました。おみそ汁がわずかしかなかつて、カッスに半分しか入れてあげられませんでした。動くこともできなくて木が欲しいといってお

られたのですが、水一杯もついでにあげることができず、自分の力のなさにショックをうけました。反対にすいません、すいませんと何度もあたまを下けられる方もおられ、来てよかった、複雑な気持ちです。

何がここまで釜ヶ崎の人たちをおいこんだのか、知る必要があるし、知らなければならぬ。自分の行い、社会の流れを小さいところからよく見、よく聴き、知らなければならぬ。そう思いました。

♥ 天王寺方面にまわりました。天王寺駅で50才のわたなべさん(明日、相談に来るそうです)10年位前震災で放ったらかしだったとのこと、障害4級とのことですが、いったい私に何が出来るのかと思うとうーん ちーばり考えこんでしまいます。

(女 32才)

♥ 天王寺。パトロールの人も、毛布も、お味噌汁も、時間も、皆満足には程遠く足りない。だから防ぐ方法の面から考えていけるようにしなければ、いつまで経っても同じだと思った。医療相談の事でも、労働者と一緒にもっとおして頑張らないと、あまり信頼のないものになってしまう。今日はせめて暖かくてました。

(女 23才)





♥ 毛布もみぞ汁も足りなくて。なんにもなしでねている人も何人かいて…… ケガや病気の人、梅利として国や企業に言うべきだと思う。福祉のたりなさをつくつく感じた。

♥ この時期に釜ヶ崎内外近辺だけで平均300人の野宿者がいるという超大問題に対して何ら手をうたない民生行政。全市的、特に目立つ北区、南区を合わせるだけでも500人はくだらないはずである。こういった事実に対して具体的に行動をおこしていかな何も変わらないし、現実が悪くなる一方である。

♥ 公団住宅の中庭で寝ているおじさんがいた。まだ若そうな人。「ここは安心して寝れる。なんばの方はキチガイが多いし、ぬくびがかかぬぞうやし……」と言っておられた。やはり安心して眠れる場所が必要だ。精神的にも、肉体的にも疲れている日雇いの人達。いつも自分の無力を感じるパトロール……。毎週の学習会を通じて多くの事を学び、又、他の人々にも伝える事が必要だと思う。

♥ 日本の経済について大学で勉強するよりも釜ヶ崎での学習会で、もっとならうことができると思いました。大国になった日本の経済社会はこの日雇い労働者の犠牲の上になり立っているのにびっくりしました。それにもかかわらず軽視してしまっで、「浮浪者などよんでしまうのは、余りにも卑劣が知られていないと思いました。パトロールをしながら笑顔、やさしい顔の人が目立ちました。毛布

をわたしながら私の心の中で感謝の気持ちがいっているのを感じました。本当に御苦勞様ですと言いたかったのです。

(女 50才)

♥ 今日はいつもより毛布、みぞ汁、カイロの数をこなしたのではないかなあと思う。一週間に一度しかパトロールに来れないけれど来るたびにたくさんの青カンの人達に出会うのが悲しみでもあり、たのしみでもある。この今の釜ヶ崎の現状を自分の目でたくさんの人に見てもらいたいなあと思う。口ではうまく伝えられないし、本当のことはわかっても伝えないだろうし…… 自分もパトロールに参加するぐらいで何もできないけれど、たくさんの人と一緒に労働者の人達を少しでも生活しやすいように頑張りたい。ほんのわずかな力でもたくさんあつまれば少しずつよくなることを祈って……

(学生 22才)

♥ 土曜日こどもの里夜まわりを終わっての帰り道、いっしょのアパートのちびちゃん2人とシノキやにやられてケガしてるおっちゃんの話をしながらかいてました。

小3「シノキやてわるいやつやなあ」

6才「あんなわるいことしたら神さまにバチがあたんなあ」

高2「バチなんかあたぬへんのとちゃうかー」

小3「そうやで、神さまは見てるだけやぬんで」

高2「そうやで、人間のわるいところは人間とうしがアカンで言ぬなあかんぬんで」

(高2 土方)

# 参加者の声

♥ 今年の冬は昨年には比べ暖かい日が続いているように思いますが、しかし暖かくとも冬の青カンはやはりつらいことと思います。釜ヶ崎血辺だけだと青カンしている人達の数はあまり変わっていないようだけど、日本橋や北は梅田の方まで青カンしている人達が広がっていると聞くと、なんともやりきれません。長崎、高島鉦が閉山、5000人の人口が4000人になったと言うことは、その1000人のうち少なくとも何人かはこの大阪へ職を求めて、いや『生きる希望』を求めてやって来て、そこにあるのは一泊¥500の宿、もしくは青カン、こんなに簡単な公式ではないのでしょうけど釜ヶ崎の人口が、いえ職を求めている人口が増加していることには違いないのでしょう。考えると重いですね、でも考えなければなりませんね。

(男 29才)

♥ 喜望の家のパトロールが始まって3週間たつが、初めて雨が降らなかつた。3度目の正直というやつかも知れない。それはさておき毛布を配りながら思うことであるが、どの程度役に立っているのであろうか。私は普通しきふとん、かけふとん、毛布2枚を用いて屋内でぬえているが、それでも寒い。だからおっちゃんたちは毛布一枚かぶっても寒さをしのぐにはとうてい不充分であろう。彼らをこのような状況においこんだ巨大な力が私は憎い。

(家庭教師 26才)

♥ 年未年始に名古屋の笹島で深夜パトロールをしました。笹島との違いは、

釜ヶ崎	笹島
パトロール前の学習会	なし
毛布等の配布	なし
みそ汁	お茶
自立という考えが労働者自身に芽生える機会があまりないようだ	労働者の人で元気な人に積極的に参加してもらい「自分たちの自立のための活動である」ことを自ら認識する機会がある
集合場所が屋内である	集合場所が野外の公園である

(男 25才)

注、釜ヶ崎でも1/25~1/12までは協友会をふくむ多くの個人、団体とともに「越冬闘争実行委員会」をつくり、殺人行政や青カン労働者への襲撃から、労働者自身の手で仲間を守る闘いとしてとりくんできました。その方法は笹島や山谷もほぼ同じだと思います。その後、釜日労が手配師、人夫出し業者らとの春闘をとりくみはじめるため、協友会が中心となって医療パトロール等の活動を2月未まで続けることになっています。

「里夜まわりだ  
よみには土曜日  
参加者の感想や  
学習会のまとめ  
等がのっています。  
ぜひ読んでください」



# 週刊えっとう4

1987-2-9

釜ヶ崎  
キリスト教協友会

## 釜ヶ崎の状況 ④

2月1日～2月8日

**2月1日(日)** 6時半から「越冬活動交流集會」が、ふるさとの家で行われる。参加者42人。子どもたちの参加が今年の特徴。集會を活気あるものにした。(くわしくは、次ページ集會報告参照)

**2月2日(月)** 越冬実態一括集會の2回目が西成市民館で行われる。ここからの活動をめぐって討論。さらに9日も話し合いを続けることになる。ふるさとの家の担当で夜間パトロール。医療センター南側で、労働者が死んでいるのを発見。3人の労働者を出会いの家にとめる。

**2月3日(火)** 夜まわり旅路の里担当。小雨。降ったりやんだり。天王寺駅から西行きの環状線沿いの路上生活者に対して大阪市土木局から強制立ちのきのく告>が出されているとの報告があり、明朝、釜日労の人々と現場へかけつけることにする。野宿する人の数は減ったが「体をこわしている人が急に起き上がり仕事にいけるはずもなく、とこかへ散らされているのだろう」。警官がそれこそウロウロしている。

**2月4日(水)** 朝から医療相談。7人来る通院の人を除き、3人が入療。入院できるが市更相は「浪速区から来た人は、ここでは扱えない」と言う。浪速区福祉事務所へ相談に行く。

医療連と共同で、木島病院の件で市更相と交渉(9:30~11:00)。二つもかさなるので人手がたりない。市更相との交渉中に天王寺駅附近で、土木局が強制立ちのきをはじめたとの連絡が入る。土木局は一時、現状維持で、生活保障その他について話し合うと約束しながら、約束を破り、天王寺署の後押しで、路上生活者の仮住宅をゴミの如く撤却してしまった。釜日労、医療連、協友会有志、夕方まで抗議する。

**2月5日(木)** 午後から土木局に人権無視の撤却作業に抗議。土木局、非を認める。

**2月6日(金)** 同じく土木局と強制立ちのきさせられた人々の保障のことで話しあう。夜、喜望の家パトロール。南では、シノギにやられた人が3~4人もいた。みんな顔面をやられている。日本橋周辺の野宿者激増。

**2月7日(土)** 釜日労は、2月4日西宮の飯場で無断で休んだ労働者をなぐり殺した事件をニュースで大きくとりあげる。この手の事件はなかなかなくなる。夜こどもの里夜まわり。北コースでは、2月5日(木)、太陽製麺のところで労働者(40名)がなくなったことを知らされる。



え、とう  
越冬!!  
.....

—'86~'87 越冬活動交流会—

1987年2月1日(日)

越冬活動交流会は、6:30~9:00PM まで開かれた。吉岡さんの司会ではじまり、開会礼拝は、金井さんが担当。福音書の12章にある4人の友人が友だちを戸板ではこび、友人たちの信仰で病人が癒された話を引用し、釜ヶ崎の活動は、「甚難の共有」であることが強調された。とくに今越冬では、協友会関係者から傷つく人、逮捕される人が出て、生命を守る闘いが、やっとな釜ヶ崎の労働者と同じスタートラインに立ったと語られた。

12月25日から1月末までの越冬活動中間報告は、高見さんが担当。今冬も大阪市は行革福祉切り捨てを断行。年末年始生活が厳しいために大阪市民生局の臨時宿泊所に入所を申し込んだ労働者は約1300人。にもかかわらず大阪市は約950人しか入所させません。当然500人前後が野宿を強いられる。1月12日からは協友会が週4回(月・火・金・土)釜ヶ崎とその周辺(天王寺・日本橋)をパトロールしている。釜ヶ崎地区内は、130~140人、地区外は200人前後、合計330~360人の人々が野宿を強いられている。寒さが厳しくなってきた。仕事はあるとは言え、高令・病弱・「障害」をもつ人たちは、やはり就労できない。今年の一つの特色は、こどもく土曜日・こどもの里)が30人程参加していることだ。釜ヶ崎のこどもたちが、釜ヶ崎の問題を内から考え出し、行動しはじめたことでその意義は大きい。

続いて、昨年10月、四天王寺境内で野宿を

余儀なくさせられている労働者が少年たちにエアガンで襲撃された事件について、小柳さんが報告した。この事件の背後には、社会一般の日雇労働者への深い差別がある。その証拠として、4年前の1983年2月、横浜寿町の日雇労働者が同じく少年たちに殺されたとき、商店主たちは、あの事件に対してもう一度起らないかと「ラスコール」さえ送ったことが録音テープを通して紹介された。大阪では、天王寺博(87年8月1日~11月8日)のために失業中の労働者があちこちへと追いつてられている。天王寺博のテーマはくいのちいきいき、人・いきもの共存をめざす>だが、ここでも失業中の労働者は<人>の中に入られていない。

意見交流の主役はこどもたちだった。夜間パトロールと学習会に参加した経験が、労働者、とくに野宿する労働者に対する考え方を大きく変えたことが語られた。また作文として読まれた。中でも印象に残ったのは、小学校一年生が、パトロールしたあと家のふとんの中に入っても、おっちゃんたちのことを考えると3時(午前)まで眠れなかったと作文に書いたことである。また、ある母親は、自分のこどもが近所で野宿する労働者をからかったのを知り、こどもと共に越冬活動に参加した。それがきっかけでこどものものの見方、考え方が変わったことを、当時のこどもの日記を紹介するなかで話された。またスペインのシスターは、日本人一般の人間に対する考え方にとてもおどろいたと発言された。ほほえましいエピソードは、野宿する労働者が入院するの

で、かひか飼っていた犬二匹を学童保育所くまぐで育て、こどもたちが一つの詩を生み出したことである。詩の朗読をきいていると、このこどもたちこそ、くいのちいきいき、人いきものの共存をめざすくまさにお手本である。大阪市長さんや21世紀協会の人たちに会わせてあげたいくらい。一時間あまりの意見交流もこんなことで、あっと言う間に終わってしまった。

最後はこの交流会の大きな目的の一つ各夜間パトロールの特色の紹介をした。月曜日(高坂)は、夜のパトロールだけでなく、昼間もまわり、ケアをしている。夜は、出会いの家にとりまわり入院、生活相談等に応じている。おにきりのお米は毎回一斗はたいている。釜ヶ崎内の人たちなので特別の学習会は持っていない。

火曜日(藤田)、車前のテーマを決めた学習会と夜まわり、翌日の医療連と共同の医療相談が一つの活動である。学習会は、青カンとか日雇労働の構造をとりあげている。毎回新しい人が参加し、40人前後の人たちで夜まわりをしている。

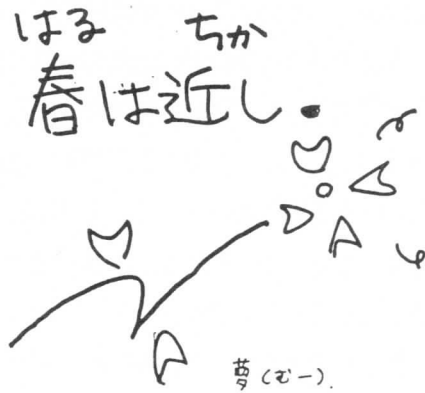
金曜日(園田)、アルコール問題をテーマに学習会をはじめた。参加者が定着して来たので天王寺・日本橋方面にも出かけた。翌日入院などのケアをしている。

土曜日(小柳)、こどもたちとするパトロールは、これまでのもので全く違う。パトロールが生き生きとしている。こどもから教えられるところも多い。学習会では、釜ヶ崎の労働者とわたしたちの生活がとどこつながって

いるかを重点に15~30分学習している。大人、こども計80人も参加者があるので、グループ分けなどは大変である。

最後は、薄田神父の祈りで終わった。

日曜日で翌日学校があるのだが、こどもたちが参加し、交流会を盛りあげ、例年と一味違った集会になったのは大きな成果。ただ、参加者のほとんどが、日常的に釜ヶ崎に関係しているだけに、この声を外の人たちにも聞いてほしかったと思った。参加者が作文や詩を用意して参加したのも、短い時間ではあったが、会を充実したものにした。お互いに勇気づけられ、2月未まで越冬活動を続けられると思った。



♡こどもの作文がのっている「里夜まわり」だより」No.3.もあわせて読んでください♡

— パトロールから ④ —

月・日	参加者	地区内		計	日本橋天王寺
		南	北		
2月2日(月)		95	24	119	281
2月3日(火)	41	61	25	86	273 <small>(小橋)</small>
2月6日(金)	63	113	55	168	380
2月7日(土)	81	87	27	114	276

# 参加者の声

♥〔学生(タイ) 23才男〕

世界の中で最も金持ちと思われるような日本において、道を野宿してる人に出て今の気持ちを表すことはかんたんではありません。多くの仲間のボランティアの働きを見たことはすごく印象的でした。我々がやっているような慈善活動ではすべての抑圧された人々の問題の具体的解決にはつながらないだろうということは知っています。しかし少なくともこの団体は、日本の人々の意識化と問題意識の覚醒に大きく貢献できるだろうと思います。そしてあなた方は、貧困にあえぐ人々にチャンスと希望を与えるような社会を再構築することができましょう。実際この世界の他の地域には、何百万、何千万という人々がまだ苦しい生活を強いられているということ。ここにいてすべての人々にわかってほしい。多くの貧しい人々が、飢え、住む場所をもたず、病気があったり、そして死んでさえるのです。我々は豊かな社会に住む者として、関心をもつのみでなくすべての人々(貧乏人と金持ち、白人と黒人、キリスト教徒と仏教徒など)が、同じ人間として手をとりあって共に生きてゆけるような、よりよい社会をつくるために、我々のすべての努力と能力をささげなければなりません。

♥〔日本キリスト教団 団体職員 38才男〕

厳冬中の青カンのことについては聞いていましたが、生身の労働者が寒さにふるえな

がら夜を明かすことの大変さを痛感させられました。人間の命の状況を思い知らされたような気がしました。弱い者の命がどのような状況にさらされているのか、ということがその社会がどのような社会かを雄弁に語ります。今の社会の非人間性を、何よりも知らされました。パトロール参加者の広がりをお願いです。

♥〔アノ教会 34才男〕

新今官駅で寝ている人が少なかった。かわりに多くの看板、告示がかかけられていた。そこで寝ようとする人たちだけを頭においた文章。巡回しているおまわりさんが職質をしていた。荷物をすべておろさせ台車を調べていた。力を注ぐべきところ、とりしまるべきところがすべて狂っているのか？

♥〔夙川教会 学生 22才男〕

今日は日本橋をまわったが、前回よりも教が増えていたようだ。「一人も死者をださないうために」という目的を達成するためにがんばって11こうと思う。先日、平和教育の講座で「私達は過去のあやまちを二度とくり返さないと同時に、もっとそのあやまちについて知る必要がある」と言っている人がいたが、同じことが私たちにも言えよう。私たちも、もっと事実を知る必要がある。そしてその事実を多くの人々に知らせる責任を担っている。

♥〔弘治小学校 1ねん〕

ほくが、みそしるを、くばりました。ほくは、かえって、おっちゃんのことをかんがえたら、ぬらひませんでした。ほくは3じまでぬらひませんでした。